

コンチネンタルタイヤ、 「Tire Technology International」誌が発表する 2017年の「タイヤメーカー・オブ・ザ・イヤー」で2度目の快挙

- 業界専門家による有識者会議がコンチネンタルタイヤの研究開発、試験および生産設備に対する並外れた投資を称賛
- 長期成長戦略「Vision 2025」に基づく2016年実施の膨大な数のプロジェクトを革新的で優秀と評価
- 受賞を決定づけた3つの要因は、ハイパフォーマンステクノロジーセンターの設立、タンポポの根から生まれた天然ゴム工業化に向けた Taraxagum プロジェクト、タイヤ生産量の大幅な増加



※本プレスリリースは、現地時間 2017 年 2 月 16 日にドイツ・ハノーバーで発表した内容の参考訳です。
万が一、英文原文と意味合いが異なる部分がある場合には英文が優先されます。

2017 年 2 月 14～16 日にドイツのハノーバー市で開催された Tire Technology Expo 2017 において、英国の業界誌「Tire Technology International」が発表する「タイヤメーカー・オブ・ザ・イヤー」(Tire Manufacturer of the Year)で、このたびドイツのコンチネンタルタイヤが2度目の受賞を果たしました。

2008 年より開催され、毎年恒例となっている本賞は、タイヤの設計・生産業界における技術革新とその優秀さを表彰するもので、特に輝かしいアイデアや熱心な取り組みに贈られます。本賞は、欧州、日本、インド、米国など 27 名の専門家審査員から成る有識者審議会が、同誌読者や編集スタッフが推薦した受賞候補の中から受賞者を選定します。今回の受賞は、コンチネンタルタイヤの過去 12 ヶ月間に注力した活動が評価された結果です。

今回、特に審査員を納得させたコンチネンタルタイヤの技術革新として、2016 年 6 月にドイツ・コルバツハに新設されたハイパフォーマンステクノロジーセンター(HPTC)、ドイツ・アンクラムの研究センターの開設などを含むタンポポの根を原料とする天然ゴム工業化に向けた Taraxagum プロジェクト、そして、トレッドにタンポポ由来のゴムを使用する史上初のトラック用タイヤの生産が挙げられます。さらに、ポルトガル・ロウザドの農業用タイヤ研究開発センターの発表や、チェコ共和国・オトロコヴィツェでのトラック用タイヤの生産活動拡大も受賞の要因として言及されました。

「Tire Technology International」の編集長で有識者審議会議長を務めるグラハム・ヒープス氏(Graham Heeps)は、「過去 12 カ月にわたってコンチネンタルタイヤは、研究開発や試験、製造への投資にひたむきに取り組んできました。欧州をはじめとしたさまざまな市場で同社が販売する超ハイパフォーマンスタイヤから農業用タイヤまでのあらゆるタイヤの消費者が、その恩恵を受けることになるのです。」と語りました。

100 億ユーロ超の売上を誇る世界第 4 位のタイヤメーカー、コンチネンタル AG で執行役員兼タイヤ部門統括責任者を務めるニコライ・ゼッツァー(Nikolai Setzer)は次のように述べています。「今回の受賞にあたり、当社が実現している技術プロジェクトやイノベーションを評価いただき、大変喜ばしく思います。この受賞は、当社が掲げる長期成長戦略の『Vision 2025』に一貫して取り組んできた証です。同時に、最も革新的なタイヤメーカーとして表彰されることで、50,000 名以上の従業員を擁する当社のグローバルチームのモチベーションが大いに高まり、今後も『Vision 2025』を指針として邁進する私たちの自信にもつながります」。



執行役員兼タイヤ部門統括責任者
ニコライ・ゼッツァー

2011 年以降、コンチネンタルタイヤは「Vision 2025」を背景に、すでに 30 億ユーロを超える投資を合肥市(中国)、カルーガ(ロシア)、サムター(米国・サウスカロライナ州)の新規生産工場の建設に費やしています。また、そのうちの毎年 3 億 5000 万ユーロが、当社が擁する世界中の既存工場の拡大に投資しています。さらに、コンチドローム性能試験場内にコンチネンタルタイヤが建設した当社独自の全自動ブレーキ性能屋内試験場(AIBA)とともに、ドイツ・コルバツハに新設されたハイパフォーマンステクノロジーセンター(HPTC)も大きな注目を集めました。ハイパフォーマンステクノロジーセンター(HPTC)では、全生産機械の洗練されたネットワークの構築により、技術に関する新たな発見をほぼリアルタイムで生み出しています。その発見はコンチネンタルタイヤが擁する世界中のタイヤ生産工場に伝えられ、効率と効果の面においてさらに改良が加えられます。

2014 年、コンチネンタルタイヤが最初に「タイヤメーカー・オブ・ザ・イヤー」を受賞した時には、リトレッド(再生)処理とラバーリサイクリング施設を統合した、ハノーバー、シュトッケンの「ContiLifeCycle」工場でイノベーションアワードを同時に受賞しました。この施設は、今日でも世界で当社にしかない独自のゴムリサイクル施設です。

2016 年、コンチネンタルタイヤは史上初となる、全世界で合計 1 億 5000 万本を超える乗用車用および軽トラック用タイヤの生産とともに、欧州・中東・アフリカ(EMEA)、南北アメリカおよびアジア太平洋(APAC)の各地域で、生産と販売の点において非常に優れたバランスを達成しました。その結果、コンチネンタルタイヤの長期成長戦略「Vision 2025」の実現に向けた道筋は確固たるものとなっています。



コンチネンタル社を代表して賞を受け取る
技術開発責任者
オリバー・シュラム



「2017 タイヤメーカー・オブ・ザ・イヤー」の
トロフィー



【コンチネンタル社について】

コンチネンタルは人とモノの輸送に関わるインテリジェントな技術を開発しています。信頼される業界パートナー、自動車産業サプライヤー、タイヤ製造、産業界パートナーとして、持続可能、安全、快適、カスタマイズ、アフターダブルなソリューションを提供します。シャシー&セーフティー、インテリア、パワートレイン、タイヤとコンチテックの 5 部門の 2016 年度の暫定売上高は約 405 億ユーロで、世界 55 カ国に約 22 万人の従業員を擁しています。

【タイヤ部門】

タイヤ部門は現在、全世界に 24 か所の生産および開発拠点と 49,000 人の従業員を有しています。幅広い製品ラインナップと研究開発への継続的な投資により、コスト効率的で環境にやさしいモビリティに大きく貢献しています。2016 年度の売り上げは約 107 億ユーロで、1 億 5,000 万本以上の乗用車、トラックタイヤを販売しました。

【乗用車・小型トラック用タイヤ】

乗用車・小型トラック用タイヤは、ヨーロッパ市場においてトップメーカーのひとつであり、新車装着タイヤ、補修用タイヤ市場において世界 4 位です。自社のプレミアムブランドの製品開発において、転がり抵抗を最小化しながら、安全関連のあらゆる特性を最適化することに焦点を当てています。現在、ヨーロッパの自動車メーカーが発売する新車の約 3 分の 1 にコンチネンタルタイヤが装着されています。

【スポンサーシップ】

コンチネンタルのタイヤ部門は、AFC アジアカップ UAE 2019 のオフィシャルスポンサーです。
<http://www.ContiSoccerWorld.com>

日本語公式サイト : <http://www.continental-tire.jp>

日本語公式 Facebook ページ : <http://www.facebook.com/continental.japan>

《報道関係各位からのお問い合わせ先》

コンチネンタルタイヤ広報事務局 担当 : MSLGROUP in Japan 松井、岡田
Tel: 03-5719-8901 / Fax: 03-5719-8919 / Mail: conti-tire@msljapan.com